

マイコプラズマ・ジェニタリウム (Mycoplasma genitalium)

別名：MG

マイコプラズマ・ジェニタリウム (Mycoplasma Genitalium : MG) は、細菌（バクテリア）性の感染症で、コンドームを使わないセックスの最中に感染する可能性があります。

重要ポイント (QUICK FACTS)

- マイコプラズマ・ジェニタリウムは、子宮頸部や尿道、直腸に発症する STI（性感染症）です
- マイコプラズマ・ジェニタリウムの感染者の大半は、まったくの無症状です
- 検査は通常、検尿か、スワブによる膣、子宮頸部、または肛門のサンプル採取で行われます
- マイコプラズマ・ジェニタリウムは、抗生物質で治療することができます

マイコプラズマ・ジェニタリウムとは？ (What is this?)

マイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) は、子宮頸部や尿道、直腸に感染する細菌により引き起こされる性感染症です。

マイコプラズマ・ジェニタリウムにはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

マイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) は、MG 感染者とのコンドームを使わない膣性交やアナルセックスにより、人から人にうつる可能性があります。

マイコプラズマ・ジェニタリウムの症状 (What are the symptoms?)

膣 (Vagina)

膣がある人には、つぎのような症状が現れることがあります：

- 下腹部の痛み
- セックス中の痛み
- 異常なおりものの分泌
- 排尿時の痛み
- 膣からの不正出血

ペニス (Penis)

ペニスがある人には、つぎのような症状が現れることがあります：

- 排尿時の痛み
- ペニスからの分泌物

直腸 (Rectum)

直腸に感染した人には、つぎのような症状が現れることがあります：

- 肛門内部の痛みまたは炎症・かゆみ
- 肛門出血

マイコプラズマ・ジェニタリウムの検査方法 (How do you test for it?)

膣がある人への検査は通常、検尿か、スワブによる膣または子宮頸部のサンプル採取で行われます。

ペニスがある人への検査は通常、検尿で行われます。

感染症が直腸に発症している人への検査は、スワブによる肛門からのサンプル採取で行われます。

マイコプラズマ・ジェニタリウムの検査はいつ受けるのか？ (When do you test for it?)

上記のマイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) の症状がひとつでも見られる場合は、検査を受けることが推奨されています。また、性的なパートナーが MG に感染している人も、MG の検査を受けることが推奨されています。MG の症状が見られない人については、その人が MG 感染者のパートナーである場合を除き、推奨されていません。

マイコプラズマ・ジェニタリウムの治療法 (How is it treated?)

マイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) はまず、2 クールの抗生物質投与で治療されます。この治療法により、MG 感染の 80% から 90% が完全に治癒されます。

抗生物質の服用から 2~3 週間後に、抗生物質がきちんと効いていることを確認するためにもう一度検査を受ける必要があります。

自身とパートナー（複数の場合は複数のパートナーたち）の MG の検査結果が陰性が出るまでは、セックスをしないか、性的な接触の際はいつも必ずコンドームを使うようにしましょう。

MG は抗生物質に対する耐性が強くなっているため、治療が困難な感染症になりました。

耐性の強い感染が増加していることを踏まえ、抗生物質の使用をさらに増やしていくことによる害と、MG によりもたらされる害のバランスを取ることが重要です。

抗生物質を何クールも繰り返し使用すると、つぎのような結果につながる可能性があります：

- 深刻な副作用
- ヒトの健康に重要な役割を果たしている腸内細菌への危害
- 他の細菌やコミュニティ内における抗生物質耐性

MG の治療に際してのゴールは、症状と感染を除去することです。

しかし、抗生物質による治療の後でも MG が検出されるような継続的でしつこい感染については、完全な治癒を実現できない可能性もあります。なお、症状が継続して見られる場合を除き、追加の抗生物質治療は必ずしも推奨されたり処方されたりしない可能性があります。

治療しなかった場合の合併症 (Are there any complications if not treated?)

ペニスがある人については、マイコプラズマ・ジェニタリウム (MG) がなんらかの深刻な医療上の問題の原因となることを示唆するエビデンスはありません。

膣のある人については、MG 感染患者のおよそ 5%において、MG が骨盤内炎症性疾患 (Pelvic Inflammatory Disease : PID) を引き起こす可能性があります。

自分を守るために (How can I protect myself?)

マイコプラズマ・ジェニタリウムから自分を守るのに一番良い方法は、膣性交やアナルセックスの際にコンドームを使うことです。

パートナーに知らせましょう (Let them know)

このように STI (性感染症) の診断を受けたときは、過去 2~3 ヶ月の期間のあなたの性的なパートナー全員が、医師による検査を受けるべきです。

STI を治療せずに放置すると、将来深刻な問題を引き起こしてしまう可能性があるため、あなたの性的なパートナー全員 (決まった相手もカジュアルな相手も含む) が検査を受けることが非常に重要です。

パートナーに感染の事実を伝えるのが難しい場合は、Let Them Know [パートナーに知らせましょう] (letthemknow.org.au) というサービスが提供している資料を参考にしてください。ここではパートナーにあなた自身の名前を出して個人的に、または匿名で送ったりやり取りすることができる会話や E メール、SMS (ショートメール)、手紙のサンプル集が用意されています。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもらう
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STIに感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000番（救急）に電話通報してください。